

J A全農いわて純情産地いわて杯

第43回岩手県スポーツ少年団柔道大会実施要項

- 1 趣 旨 大会（柔道）を通して、青少年の健全育成と、スポーツ精神の高揚を図り、スポーツ少年団相互の交流を深めるとともに、柔道の普及振興に努める。
- 2 主 催 岩手県柔道連盟
- 3 共 催 岩手県教育委員会・（公財）岩手県体育協会・岩手県スポーツ少年団本部
岩手県柔道整復師会
- 4 特別協賛 J A全農いわて
- 5 後 援 岩手日報社・NHK盛岡放送局・IBC岩手放送・テレビ岩手
めんこいテレビ・岩手朝日テレビ・FM岩手
- 6 日 時 令和3年2月21日（日）午前10時開会
- 7 会 場 岩手県営武道館
盛岡市みたけ三丁目24-1 TEL019-641-4577
- 8 参加資格 (1) 岩手県スポーツ少年団、又は全柔連(岩手県柔道連盟)に登録している柔道スポーツ少年団で、スポーツ安全保険に加入していること。
(2) 小学4・5年生男女児童とし、各団体1チームとする。
(3) 配列については、中堅から大将までを5年生とし、先鋒から次鋒を4年生とする。但し、やむを得ない場合は4年生の補充として、3年生をもって充てることもできる。（頭部外傷等、選手の事故防止のため、十分な受け身をとれることを所属チームの代表者が認めた選手に限る。）
(4) 全国少年柔道大会の参加資格に準じる。
(5) 1・2年生は出場できない。
(6) 参加者については、本人の意思の確認、個人情報プログラム及びインターネット掲載について、学校・保護者の承認を得ること。
※ 必ず出場所属のゼッケンをつけること。
※ 監督は、必ず全柔連公認指導者資格を所持していること。
- 9 試合方法 (1) トーナメント方式(点取り試合)とする。
(2) 選手
ア 1チームにつき監督1名、選手5名、計6名で編成する。
イ 選手の配列は、学年毎とし、その配列は先鋒・小学4年生、次鋒・小学4年生、中堅・小学5年生、副将・小学5年生、大将・小学5年とする。但し同学年同士の配列は体重の軽いものを先に配列する。
ウ 下学年の児童が上学年の児童の位置に出場できるが学年順の配列を変更することはできない。

- エ 試合ごとに選手の配列を変更することはできない。
- オ 選手の変更は、大会当日監督会議前に事務局に申し出ること。

(3) 試合

- ア 国際柔道連盟試合審判規定（国内における少年大会特別規定）により行う。
- イ 試合時間は3分とし、全てトーナメント戦で行う。
- ウ 勝敗の判定基準は、技の効果「一本」・「技あり」、「指導2差」とする。

エ チームの勝敗決定方法

- (ア) 勝敗は「点取り試合」とし勝ち数の多い方のチームを勝ちとする。
- (イ) 勝ち数が同数の場合は、内容を検討する。（一本・技有等）
- (ウ) 内容も同じ場合は、代表戦1回を行い、必ず勝敗を決する。
- (エ) 3位決定戦は行わない。

- 10 表彰 優勝・準優勝・3位（2チーム）を表彰する。
- 11 組み合わせ 前回大会の上位4チームをシードし、他は同一市町村のチームが1回戦で対戦しないように配慮しながら、大会事務局で厳正に抽選を行う。
- 12 申込 (1) 所定の申し込み用紙により、下記あて申し込むこと。
〒028-0082 久慈市川貫 5-20-230 久慈市立三船記念館内
細工藤弘巳 宛 電話 090-1066-3623
(2) **申し込み締切 令和3年1月22日（金）必着**
(3) 申し込み後の登録選手変更は大会前日までに上記に申し出ること。
- 13 参加費用 旅費、宿泊料、保険料等参加に要する経費は、参加者負担とする。
- 14 参加料 1チームにつき、3,000円とし、大会当日納入すること。
- 15 審判員 参加チームごと、1名の審判員を派遣すること。（経費は所属負担）
（参加申込書に必要事項を記載すること）
- 16 その他 (1) 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)については、全日本柔道連盟新型コロナウイルス感染症対策と練習・試合再開の指針に則る。
(2) 無観客試合とする。ただし、事前に希望のあった保護者(父母)1名の入場を可とする。
(3) 傷害等については、簡単な手当のみ行うが、それ以上について主催者は責任を負わない。
(4) 審判・監督会議は大会当日9時20分、柔道場で行う。
(5) 優勝チームは、全国少年柔道大会（令和3年9月以降開催予定）の出場権を得る。
(6) 新型コロナウイルス感染症対策のため別添注意事項を厳守すること。
(7) 本大会に要する経費は全て自己負担とする。